

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ひみつきち			
○保護者評価実施期間	令和7年 4月 1日		～	令和7年 4月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数)	11
○従業者評価実施期間	令和7年 4月 7日		～	令和7年 4月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 4月 23日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	現状勤務するスタッフが、重心児者・障がい児施設・事業所で勤務経験がある。 (週1日勤務のすたっぴには、自己評価を実施せず)	それぞれの経験を活かし、日々の活動内等を目的を持って行うことが出来ている。	実施する中で、工夫が必要だったり、方法の変更を都度スタッフ間で話し合うことが出来ている。
2	勤務経験の長いスタッフが多いこともあり、他施設・他事業所・計画相談支援事業所との繋がりがあることから、連携が図れる。	お互いに（他事業所と）協力し合い、相談・意見交換をするという体制が作れている。	私達も開設してまだ浅く、他の事業所も浅かったりするの で、先輩事業所さんに協力して頂き、勉強会等を開き、互いに成長していきたい。
3	開設前に近隣の方々にご挨拶したことで、理解もあり声を掛けてくださる。ペットを連れての散歩時にも寄ってくださり、 ドッグセラピーにもなっている。 地域の中での関わりが出来ている。	活動中での「散歩」「公園での過ごし」の時には、すれ違う 方々・公園にいらっしゃる方々に「こんにちは」とお声掛け をしている。	地域の中での繋がりを大切にし、引き続き「笑顔で挨拶」を 続けていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	2024年度は開設1年目ということもあり、利用児が沢山ではなかった。	多くないこともあり、家族間交流や保護者会等を開催することができなかった。 送迎を利用し、兄弟姉妹児・保護者と話しをする機会は作っている。	多く集まらないからこそ、日々の活動内容を詳しく、具体的に伝えとか、スタッフの今までの経験を活かし（卒後の事・実習のこと・生活介護のこと）保護者様が興味のある内容で質疑応答がしやすい雰囲気を提供したい。
2	運転専門のスタッフ・運転のできるスタッフの確保が困難	限られた人員の中では、利用者を受け入れに限りが出てくる。 放課後等デイサービスは、勤務時間が変則なため、人材の確保が困難。	考えられる方法は行っているつもりだ。
3			